



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674
2008年1月27日 No.603

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>

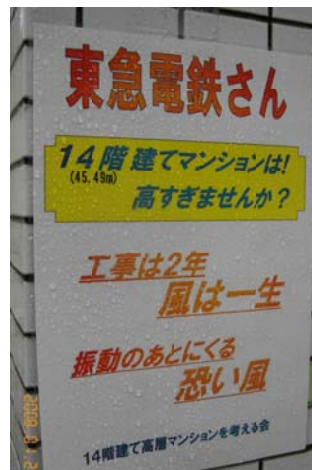
このコーナーの
「意見」は、
「寄稿」です。



商店街の
ド真ん中

高層マンション計画

商店主ら見直し求め東急電鉄と交渉



「東急電鉄さん：」左写真のポスターが戸越公園中央商店会の商店や周辺の家々に掲示されています。商店街のド真ん中の13階建てマンション計画は商店街を破壊するとして、地元商店主たちが計画見直しを求めて東急と交渉、運動を取り組んでいます。

計画のマンションは鉄筋コンクリート造の地上13階建て、高さ42メートル。1階が店舗2戸、2階からはファミリータイプの住宅ですが、商店街に面して駐車場を設置する計画です。東急リバブルが土地を購入し、マンションの建設は東急電鉄株がおこないます。

この商店街は戸越公園駅前から26号線まで、幅6メートル道路に面しています。3階と5階建ての建物が並ぶなか、突如13階建ての高層マンション計画(当初の計画は14階建てでした)。しかも商店街の真ん中なのに、前面には駐車場という計画です。商店主たちが「14階建て高層マンションを考える会」を結成、計画の見直しを求めて運動をすすめています。

戸越公園駅周辺を、高層マンション林立の街にするのか!

ある店主は「戸越公園駅の立体化事業に国から力を出させるため29号線を通すのが目的では?」と心配します。「商店街と共存共栄」というなら商店街と住民に犠牲を押し付ける計画は見直すべきです。

住民が反対の道路計画 マンションが29号線建設の先導役に?

東急の計画は、都市計画道路補助29号線計画地の内側になる商店街に面したところに駐車場を設置して、マンション本体部分は29号線の道路計画地の外側に建設する(表面の地図参照)ものの、29号線建設を前提にした計画です。まるで、商店街への29号線と高層マンション建設の

「先導役」です。

29号線計画は、地元の商店街

や町会、住民が「商店街を破壊する」などと反対運動をすすめる、東京都による工事着工をストップしています。ところが、当初

「29号線は必要ない」とのべてきた品川区が06年、豊町・二葉地域のまちづくり計画で「29号線を東京都に工事着工を働きかけ

る」として29号線推進へ方針転換しました。29号線をつくって

高層マンション林立の街に作り

替えようというのでしょうか。

29号線とは

山手通り大崎警察署前から池上本門寺付近で国道1号線に合流する5.4km、幅20mの都市計画道路。戸越公園駅周辺は商店街の片側半分が削られます。

山手通り地下の「首都高速中央環状品川線」の出入り口が五反田に設置の予定。29号線は、混雑する国道1号線のバイパスです。



幹線道路なくとも鉄道立体化を 都創設の制度活用こそ住民の願いと一致

3月からの東急大井町線への急行乗り入れ計画に、住民から戸越公園駅と周辺の立体化を求める声広がっています。立体化のための事業費負担は東急電鉄(株)にとっても重大。現在の制度では、29号線の工事着工が決定すれば費用の大部分を行政が負担することになります。

しかし、東京都は04年6月作成の「踏切対策基本方針」で、鉄道立体化は幹線道路がなくてもまちづくりの面から実施できる制度を創設するとしています。

この制度を実現させて、29号線計画とは切り離して戸越公園駅と周辺の立体化——これこそ住民の願いと一致する方向です。

無料
法律相談は

2月15日(金) Pm 6:30



みやざき克俊事務所